



第20回

栃木県民福祉のつどい
 平成26年8月28日 宇都宮市文化会館

栃身連

第117号

発行所
 一般財団法人
 栃木県身体障害者福祉会連合会
 宇都宮市若草1丁目10番6号
 とちぎ福祉プラザ2階
 発行人 表倉仁巳
 TEL 028-624-8408
 FAX 028-624-8418

県民全体が福祉について考え、参加者が自らの活動への意欲をより高める機会とするため、「第20回栃木県民福祉のつどい」が開催

されました。第一部式典では、障害者関係で、全33名の皆さまが表彰を受けられ、第二部は、講師に笹野高史氏を迎え、『私の役者人生』と題して講演が行われました。

栃木県知事表彰

障害自立更生者

- 宇都宮市 縄野 啓行
- 宇都宮市 原田 愛子
- 足利市 植木 利男
- 足利市 杉山 正治
- 栃木市 神田 益司
- 佐野市 大澤 安夫

障害者支援功労者

- 宇都宮市 鈴木 倉子
- 民代子

栃身協会長表彰

自立更生者

- 宇都宮市 齋藤 新一
- 宇都宮市 間彦 藤夫
- 熊倉 錦博
- 小宮 美津子
- 清水 宮子
- けづ 水子
- 坂下 塚子
- 小川 美津子
- 櫻井 夕三
- 湯田 義房
- 和氣 義房
- 那珂川 彦

更生支援功労者

- 宇都宮市 加藤 五月
- 足利市 田部 井
- 大田原市 大井 金
- 矢板市 市村 金
- 那須塩原市 和氣 盛雄

- 鹿沼市 岩瀬 昭子
- 真岡市 岩瀬 昭子
- 真岡市 岩瀬 昭子
- 那須烏山市 岩瀬 昭子
- 益子町 岩瀬 昭子

県民福祉宣言

少子高齢化の急速な進行、地域間経済格差の拡大、価値観の多様化など、社会構造が大きな転換を迎えつつある今、ふるさと「とちぎ」で暮らす全ての人々が、一人ひとり自立し、お互いに支え合い、助け合いながら、安心して住み続けることのできる地域社会づくりを目指し、「子どもを健やかに生み育てる環境づくりの推進」「人と地域の輪を広げ、ひとり親家庭への自立支援」「高齢者の健康と生きがいづくりの推進」「障害者の自立支援と社会参加の促進」「共同募金やボランティアなどの民間福祉活動への参加と協力の推進」に積極的に取り組めます。そして、ここに集う私たちをはじめ、本県の福祉関係者が一致協働して、県民の福祉に対する認識と理解をより一層深め、ふるさと「とちぎ」においてノーマライゼーション社会の実現に努めることを宣言します。

- 那須烏山市 松本 清
- 壬生町 神長 伸
- 壬生町 神長 伸
- 野木町 小賀 勝
- 塩谷町 小賀 勝
- 鈴木 木花 栄一

(敬称略)

平成26年8月28日
 栃木県民福祉のつどい

地域福祉社会だより

足利市身体障害者福祉会連合会

会長 原 康

足利市では、昭和54年5月、勤労身体障害者スポーツセンターが建設され、開館して初めての行事として開催されたのが「障害者卓球教室」でした。

以来、現在まで各種スポーツ教室等を継続して開催、障害者スポーツの拠点として利用され、多くの障害者がスポーツに親しむきっかけになりました。

特に卓球が盛んで、栃木県障害者スポーツ大会では多くのメダルを獲得し、全国障害者スポーツ大会に栃木県の代表として、足利市の選手が出場し活躍するようになりました。

私たちの福祉会では、市の体育指導員及びレクリエーション協会の指導による教室や大会、佐野市福祉会とのスポーツ交流会等、障害者スポーツが盛んであります。

5年前から「健康スポーツ吹矢教室」が開かれています。障害者にとって身体的な負担がなく、健康によい利点も多いことから、

1年前に足身連体育部に吹矢クラブを結成しました。

今年8月には栃木県スポーツ吹矢協会の大岡会長を迎え、支部認定書などの授受がありました。

栃木県では11番目、足利市では5番目となる支部「足身連クラブ」がスタートしました。

部員は11名で、全員障害者のクラブは県内初であり、全国でも栃木県を含め7団体です。

9月12日に、栃木県スポーツ吹矢大会が足利市民体育館において開催され、7名の選手が出場し、日頃の練習の成果を発揮しました。

また、9月19日には、第7回全国障がい者競技会が、東京都大田区総合体育館で開催され、2名の選手が出場、支部長の田部井功太郎氏は本大会の選手宣誓を務めました。今後いっそうの活躍を期待するところであります。



スポーツ吹矢とは？

スポーツ吹矢は、5〜10m離れた円形の的をめがけて息を使って矢を放ちます。

1ラウンド(3分以内)に5本の矢を吹いて、規定によるラウンドを競技、その合計点を競います。

正しい姿勢で、正しく呼吸することで腹筋を鍛えます。

スポーツ吹矢の魅力と健康効果

誰でも、性別、年齢を問わず楽しめます

「いつでも」「どこでも」「手軽に」できます

ゲーム感覚で楽しみながらできるスポーツです

スポーツ吹矢式呼吸法による様々な健康効果

精神力&集中力を高めます

様々な世代とのふれあいや仲間づくり

実力認定や競技会参加による目標ややりがい

一般社団法人日本スポーツ吹矢協会ホームページより

第14回 全国障害者スポーツ大会
“長崎がんばらば大会”

平成26年 11/1(土)～3(月)
長崎県立総合運動公園陸上競技場他16競技会場

栃木県派遣選手（身体障害者）

順位	所属	氏名	障害	参加競技
1	芳賀町	宮本 茂樹	肢体	陸上競技
2	県立聾学校	安田 葵	聴覚	陸上競技
3	県立のぞわ特別支援学校	葎葉 玲	肢体	陸上競技
4	宇都宮市	落合 有佳利	肢体	水泳
5	真岡市	斎藤 靖	肢体	水泳
6	日光市	渡邊 武子	肢体	水泳
7	足利市	大塚 忠胤	肢体	アーチェリー
8	栃木市	大澤 真人	聴覚	卓球
9	栃木市	野澤 信弘	肢体	卓球
10	県立聾学校	藤沼 貴大	聴覚	卓球
11	小山市	星野 幸彦	視覚	サウンドテーブルテニス
12	宇都宮市	赤坂 尙夫	視覚	フライングディスク
13	鹿沼市	大貫 清	聴覚	フライングディスク
14	日光市	金田 典子	肢体	フライングディスク
15	ふれあいの森	早川 貴史	肢体	フライングディスク

もうひとつのオリンピックといわれるパラリンピックがあるように、毎年開催される国民体育大会「国体」にも「もうひとつの国体」があります。

平成26年度は長崎県で開催される秋季国体の直後に「第14回全国障害者スポーツ大会」が開催されます。

大会の歴史は古く、昭和39年パラリンピック東京大会の開催が契機となり翌昭和40年から全国身体障害者スポーツ大会が国民体育大会の開催地で毎年開催されるようになりました。

そして、「国連・障害者の十年」の最終年の平成4年、第1回全国知的障害者スポーツ大会（ゆうあいピック）が東京都で開催され、以降都道府県持ち回りで開催されてきました。

この両大会が平成13年度に統合されて「全国障害者スポーツ大会」となりました。

14回目となる本大会に、栃木県では身体障害者15名、知的障害者17名の合計32名が代表選手として派遣されます。

開会式入場券の申込みは締め切りとなりましたが、各競技会場へは自由にご入場いただけます。

是非応援にお出かけください。

平成26年度
関東甲信越静岡ブロック
身体障害者相談員研修会

平成26年7月25日、横浜ラポール1階ラポールシアターにおいて開催されました。

1 「障害者権利条約の批准に至る

経緯と今後の障害者法制の課題」

〈講師〉立命館大学客員教授 長瀬 修氏

2 「横浜市における

障害者相談体制について」

〈講師〉横浜市健康福祉局 地域活動支援係長 松浦拓郎氏

栃木県からは8名の相談員が参加、次のとおり感想が寄せられました。

●講演1について、障害者権利条約の中で障害者とは何かと3分間考え、書いて隣の人と交換するという、これまでの講演では初めての事で会場がざわつきました。

●合理的配慮の例、視覚障害者II点字や音声等、聴覚障害者II手話や筆談等、身体障害者IIスロープや手すり等、知的障害者II共同作業や解りやすい説明等、精神障害者IIカウンセリングやゆっくり話す

等、合理的配慮がないのが差別で、政府や企業には義務化が課せられている。

●講演1で障がいを持っている人が自主的に人権・差別等の問題に、積極的に発言して差別のない国にしていこうために、足だけでパソコンを操作して、一生懸命頑張っているスライドを見たとき心を打たれました。

●講演2について、横浜市での取り組みとして、障害児者の生活を支援するため、法律で規定される前から相談窓口だけでなく作業所など地域の支援機関も含めた相談支援の体制を構築し、実施していたことに先進都市の対応の良さを感じた。

●横浜市は現在法律で決められていない精神障害者相談員制度を独自に制定している。

●横浜市は多様できめ細やかな福祉サービスが充実していると思いましたが、まさに政令都市ならではの感じ、よい研修会でした。

●項目が難しかったが講師の先生のパネル説明にて、なんとか多少なりとも理解できた。

●相談員自身も、もっと勉強して活動していきたいと思えます。

平成26年度版栃木県障害者福祉ガイド

障害のある方に対する福祉サービスなど、障害者福祉施策全般について分かりやすく取りまとめた「平成26年度栃木県障害者福祉ガイド」が発行されました。本ガイドは、栃木県公式ホームページの障害福祉課のページにおいてPDFファイル版をご覧ください。

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/fukushi/shougaisha/shisaku/index.html>

有償頒布については次のとおりです。

[頒布場所]

- ・県民プラザ（県庁舎本館2階）
- ・地方合同庁舎生協売店
（河内、上都賀、芳賀、下都賀、塩谷、那須、南那須、安蘇、足利）

[頒布価格] 1冊 190円

[頒布に関する問合せ先]

栃木県文書学事課情報公開推進室
(TEL) 028-623-2059 (FAX) 028-623-2057



赤い羽根共同募金運動

共同募金は「社会福祉法」という法律をよりどころとして、国や市町村ではなく「共同募金会」という民間団体の活動によって行われている募金です。

毎年10月1日から12月31日までの3ヶ月間、日本中で赤い羽根募金が行われています。

共同募金運動は、年間200万人といわれるボランティアの皆さんにより支えられています。

栃木県内で集められた募金は、災害時などの例外の場合を除いて、栃木県内各地で、お年寄りや体の不自由な人、子供たちのために、また、地域で安心して暮らすための福祉のまちづくりの活動等に役立てられています。

皆さまそれぞれお住まいの地域においてあたたかいお心をお寄せください。


地域の福祉
みんなて参加

10/1 ▶ 12/31



©中央共同募金会

問 社会福祉法人 栃木県共同募金会
(TEL) 028-622-6694 (FAX) 028-625-9643

 この機関紙は
赤い羽根共同募金配分金により発行しています

臨時給付金をご存じですか？

4月からの消費税率上げによる負担を緩和するため、次の方々には、1万円の給付金が支給されます。

臨時福祉給付金	○受け取れる方 住民税が課税されていない方 ※課税されている方の扶養親族や生活保護受給者は除きます。
	○支給額 1人につき1万円 下記の方々には5千円が加算され1万5千円 [基礎年金、児童扶養手当、特別障害者手当などの受給者]
子育て特例給付金	○受け取れる方 平成26年1月分の児童手当を受けている子育て世帯の方 ※所得が制限額以上の方は除きます。
	○支給額 児童手当の対象となる児童(*)1人につき1万円 ※臨時福祉給付金や生活保護を受けている児童は除きます。
問い合わせ先	○制度について：厚生労働省 0570-037-192 ホームページは「2つの給付金」をキーワードに検索
	○申請方法について：各市町村 申請先は平成26年1月1日時点で住民票がある市町村です。

障害者スポーツ各種大会のご案内

■第12回全国身体障害者グラウンド・ゴルフ岐阜大会
障がいがあっても手軽に楽しむことのできるグラウンド・ゴルフを通して、全国の身体障がい者が交流と親睦を深めると共に、グラウンド・ゴルフの一層の振興及び障がい者スポーツに対する社会の理解と認識を深め、障がい者の自立と社会参加の促進に資することを目的として開催されます。

[日 程] 11月16日(日)

[場 所] 岐阜メモリアルセンター
長良川競技場・芝生広場

■第26回ぎのわん車いすマラソン大会
県内外の身体障がい者が大会を通して、お互いの連携と障がい者に対する理解を深めるとともに、身体障がい者スポーツの振興を図り、希望と勇気をもって社会に参加する意欲を喚起することを目的として開催されます。

[日 程] 12月14日(日)

[場 所] 宜野湾海浜公園歓海門前

今年度のエントリーは終了しましたが
お時間のある方は、ぜひ応援にお出かけください。